

令和元年度
事業報告書
決算書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

令和元年度事業報告

会員数 平成31年4月1日現在 法人会員85 個人会員59 賛助会員5 計149
 令和2年3月31日現在 法人会員83 個人会員57 賛助会員6 計146

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。本県からは2社2件を推薦した。

令和元年度全国発明表彰式

日 時 令和元年6月10日（月）

会 場 ホテルオークラ東京 別館2階「オーチャードルーム」

②関東地方発明表彰

本発明表彰は、地方において優秀な発明と認められるとともに、その実施効果が高く、地域産業の向上に寄与された方々の功績を顕彰するものである。本年度の表彰受賞総数は175件で、うち本県関係は下記の一覧のとおり13件を推薦した。

令和元年度関東地方発明表彰式

日 時 令和元年11月13日（水）

会 場 浅草ビューホテル

令和元年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
日本弁理士会会長賞	小型・高効率の白色LEDユニット	石田 裕之	株式会社小糸製作所
		達川 正士	
静岡県知事賞	永久磁石埋込型電動機	仁吾 昌弘	三菱電機株式会社
		桶谷 直弘	
		矢部 浩二	
		馬場 和彦	
静岡県発明協会会長賞	汎用性に優れる低コスト高耐久感光体	生野 弘	株式会社リコー
		紙 英利	山梨電子工業株式会社
		北嶋 良一	元 株式会社リコー
		小島 成人	株式会社リコー
		松山 彰彦	株式会社リコー
		永目 宏	元 株式会社リコー
		大田 勝一	元 株式会社リコー
		鈴木 哲郎	山梨電子工業株式会社
		田元 望	株式会社リコー
		左近 洋太	株式会社リコー
		栗本 鋭司	山梨電子工業株式会社
		新美 達也	株式会社リコー

静岡県発明協会会長賞	中心部にターボ型リブを有する軸流ファン	濱田 慎悟	三菱電機株式会社
		幸本 宏治	
		池田 孟	
		小林 孝	
		平川 誠司	
		吉川 浩司	
		中川 英知	
牧野 浩招			
発明奨励賞	複数モードを備えた無線タグ通信装置	樋田 直	東芝テック株式会社
		柳 沼 順	
発明奨励賞	傾斜範囲の測定装置及びその測定方法	稲森 一成	本田技研工業株式会社
		瀬崎 祐二	
		杉本 充	
発明奨励賞	有風時の室外ファン起動制御	遠藤 隆久	東芝キャリア株式会社
		神戸 崇幸	
		神谷 直仁	
発明奨励賞	ヒートポンプ式熱源機	丹野 英樹	東芝キャリア株式会社
		岡田 成浩	
		松本憲二郎	
		石黒 孝光	
発明奨励賞	空気調和機におけるファン静音化技術	栗原 誠	三菱電機株式会社
		高木 昌彦	
		池田 尚史	
発明奨励賞	電動機の製造方法	荒井 利夫	三菱電機株式会社
		尾村 和也	Mitsubishi Electric Consumer Products Thailand Co., Ltd.
		田島 庸賀	三菱電機株式会社
発明奨励賞	スクリーン紗用ポリエステルモノフィラメント	市川 智之	東レ株式会社
		山本 浩史	
		黒川 浩亨	
発明奨励賞	中国向けパッケージ用芸術紙	神山 久輝	特種東海製紙株式会社
発明奨励賞	結露防止パイプの圧力制御	田代 雄亮	三菱電機株式会社
		中津 哲史	
		西澤 章	

2. 青少年の創造性開発及び育成

①学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会が主催し、静岡県、県教育委員会、関東経済産業局、(公社)発明協会、日本弁理士会、静岡市教育委員会、県市長会、県町村会、(公財)静岡県産業振興財団、各報道機関の後援により、「第67回静岡県学生児童発明くふう展」と「第42回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

会 期 令和元年11月8日(金)～11月10日(日) (表彰式11月10日)

会 場 静岡県庁別館21階展望ロビー (入場者延べ1,953人)

ア 第67回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得してもらうとともに、優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	53点	14点
中学生	28点	14点
合計	81点	28点

上記県展で入選した作品から、小学生9点、中学生9点を第78回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
入選	虫無死キャッチ	富士市立吉原東中学校	中1	望月 麻衣

イ 第42回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現してもらうとともに、優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	27点	13点
中学生	70点	12点
合計	97点	25点

上記県展で入賞した25点を、全国展の第42回未来の科学の夢絵画展へ推薦し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
奨励賞	脳に伝える視覚障害者用のVR	浜松市立開成中学校	中3	村上 さら

ウ 後援

児童生徒の創造性開発育成のため、次のとおり後援・協賛した。

- 1) 第54回富士市発明くふう展後援
- 2) 第33回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第37回湖西発明くふう展並びに第26回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第41回浜松市小・中学生発明くふう展後援
- 5) 第6回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト協賛

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から請負った産業財産権に関わる事業を実施し、知的財産権制度の普及啓発に努めた。

①知的財産活用促進事業（静岡県からの受託事業）

中小企業の開放特許や大学・研究機関の研究成果である特許技術等を掘り起こし、地域の中小企業に積極的に技術移転を行った。

実施体制：特許流通アドバイザー 2名（非常勤）

成約件数は計画値を下回ったが、マッチング件数は計画値を達成し、マッチングから成約に至る率も向上した。成約の内容は企業間の特許実施許諾契約や特許共同出願契約、試験研究機関と企業との共同研究契約などである。事業化件数は計画値を達成し、その内容は企業間の意匠権の実施許諾などであり、意匠権の実施許諾は初めての事例である。

項 目	計画(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (H30 年度)
企業訪問件数	510	487	95.5	84.4	577
来訪件数	41	56	136.6	112.0	50
マッチング件数	50	75	150.0	108.7	69
成約件数	25	20	80.0	200.0	10
事業化件数	5	6	120.0	120.0	5
講習／講演	36	66	183.3	93.0	71

②知的財産マッチング事業

大手企業の開放特許を会員企業や地域の中小企業に紹介する知的財産マッチング会を静岡県産業振興財団と共催した。

ア 知的財産マッチング in 浜松

日 時 令和元年7月18日(木)
 会 場 アクトシティ浜松
 参加企業 株式会社ダイセル、株式会社キャンパスクリエイト

イ 知的財産マッチング会

日 時 令和2年2月25日(火)
 会 場 アクトシティ浜松
 参加企業 パナソニック株式会社

③知財総合支援窓口運營業務（INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）からの請負事業）

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下、「中小企業等」という。）を対象として実施した。

イ 実施体制

中部（本部） 3名（常勤1名、非常勤2名）
 東部（沼津支所）1名（常勤）
 西部（浜松支所）1名（常勤）

ウ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と協働して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

(1) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等の中から、課題解決に適した人材を選定した。

(2) 活動内容

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況の確認等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

エ 知財アドバイザーの活用

知的財産活用企業の裾野の拡大を図るため、中小企業診断士及び企業OBを知財アドバイザーに選定し、企業を訪問することにより、知的財産活用の重要性の理解や知的財産活用の推進を図った。

オ 支援実績

項目	目標(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (H30年度)
窓口相談受付件数	2,780	2,798	100.6	101.7	2,750
専門家活用件数	417	402	96.4	93.5	430
新規相談件数	500	498	99.6	101.2	492
普及啓発訪問企業数	100	66	66.0	75.0	88
顧客満足度調査結果	90.0	99.3	—	—	98.6

カ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用者は、41人で、1月当たり約3人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が41人中26人(63.4%)と半数を超えており、地域別では、電子出願支援用端末機器の設置場所である静岡市の利用者が22人と最も多い。

キ 連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運營業務支援機関連携会議を2回開催した。

会議の参加者は関東経済産業局、INPIT、静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、(公財)静岡県産業振興財団、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、(公社)静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、(公社)静岡県農業振興公社、日本貿易振興機構(ジェトロ)静岡貿易情報センター・浜松貿易情報センター、静岡県よろず支援拠点、日本弁理士会東海会静岡県委員会、静岡県警である。各機関の管理者や担当者が集まり、本事業の目的を再確認し、各々の活動状況や協働支援の実例、課題や問題点、今後の活動などについて協議・検討が行われ、より一層の連携強化が図られた。

(会議開催日)

第1回 令和元年 6月 5日

第2回 令和元年 12月 9日

ク 事業の周知、広報活動の実績

(1) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例を紹介している。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしており、事業の周知に努めた。

(2) 事業内容リーフレット等の作成

見開き A3 のリーフレットを、合計 6,000 部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

(3) 広告媒体の活用

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

4. 公報等各種情報提供

① 県内の特許公報等分類別動向調査 (H31.4～R2.3)

区分(注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	284	890	94	20	84	567	484	393	2,816
特許公報	180	668	57	22	77	397	431	364	2,196
登録実用新案公報	44	26	0	1	7	13	9	4	104
公表特許公報	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再公表特許公報(注2)	42	59	12	10	0	45	83	100	351
合計	550	1,643	163	53	168	1,022	1,007	861	5,467

(注1) A=生活必需品. B=処理操作・運輸. C=化学及び冶金. D=繊維及び紙
E=固定構造物. F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G=物理学. H=電気
(注2) PCT(国際特許協力条約)に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

② 先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

③ 特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係る人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会(通称:パテント部会)」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理に関するテーマを決め、討論形式により進めた。

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月17日	(1)年間事業紹介 平成30年度活動報告・平成31年度事業計画 (2)著作権小テスト (3)講演 「日常業務・生活で注意すべき著作権の基礎知識」 講師:常葉大学法学部法律学科 講師 志賀 典之 氏	28名	ペガサート
第2回	5月15日	1の島 講座・演習 「特許ことはじめ#1 発明の捉え方入門」 講師:特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	7名	ペガサート
		2の島 グループ勉強会 「ビジネスモデル特許活用に向けて ー登録例を読んでみようー」 講師:スター精密(株) 田中 和夫 氏	17名	
第3回	6月19日	記念講演会 「農業を軸にしたオープンイノベーションで新しい価値を創造」 講師:一般財団法人アグリオープンイノベーション機構 専務理事兼事務局長 岩城 徹雄 氏	31名	県産業 経済会館

第4回	7月17日	1の島 講座・演習 「特許ことはじめ#2 特許調査入門研修」 講師：石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏	11名	ペガサート
		2の島 勉強会 「特許法改正（査証制度導入）について ～特許とノウハウの基準が変わる？～」 講師：(株)巴川製紙所 知的財産グループマネージャー 中村 仁 氏	17名	
第5回	9月17日	講演 「①知財紛争に役立つDB（データベース）の紹介」 「②トラブル回避の知財契約書作成・チェック入門」 講師：小林・弓削法律事務所 所長 弁護士・弁理士 小林 幸夫 氏	59名	ペガサート
第6回	10月16日	講演 「知財リスクマネジメントセミナー」 講師：(一社)発明推進協会研究員 S-factory&CO. 工場長 筑波大学国際産学連携本部 准教授 尾崎 典明 氏 ファシリテーター：(一社)発明推進協会研究員 ディスプレイ(株) 代表取締役 桑原 良弘 氏	30名	ペガサート
第7回	11月19日	見学会 1) (株)大川原製作所 2) SUS(株)静岡事業所・静岡第2事業所 3) グリンピア牧之原	22名	吉田町 菊川市 牧之原市
第8回	12月18日	講演 「AI技術の基礎知識とAI特許出願時の留意点」 講師：河野特許事務所 所長・弁理士 河野 英仁 氏	38名	ペガサート
第9回	2月21日	講演 「インド知財セミナー」 講師：前半 弁理士 藤原 康高 氏 後半 ジェトロ・ニューデリー事務所 知的財産権部長 武井 健浩 氏	36名	ペガサート

イ 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月17日	「社内の身近な課題について」 ～うちはこうして解決した～ 講師：元旭テック(株) 知的財産グループ長 鈴木 直博 氏	11名	ペガサート

第2回	9月17日	「社内の身近な課題について」 ～うちはこうして解決した～ 講師：元旭テック(株) 知的財産グループ長 鈴木 直博 氏	11名	ペガサート
第3回	12月18日	「担当技術分野の審査基準の学び方について」 ～うちはこうして学んでいます～ 講師：元旭テック(株) 知的財産グループ長 鈴木 直博 氏	7名	ペガサート
第4回	2月21日	「社内担当部門との連携・コミュニケーションをどう取る？」 ～うちはこうしてしています～ 講師：元旭テック(株) 知的財産グループ長 鈴木 直博 氏	11名	ペガサート

ウ 知的財産権制度説明会（発明推進協会への協力事業）

項目	実施日	会場	参加者
初心者説明会	令和元年8月21日	静岡県産業経済会館	113名
	令和元年9月11日	アクトシテイ浜松	80名

6. 会議等

- (1) 会計監査 令和元年5月13日 当協会
- (2) 総会 令和元年6月19日 静岡県産業経済会館
- (3) 理事会 令和元年5月28日 静岡県産業経済会館
令和2年3月10日 静岡県産業経済会館
- (4) パテント部会幹事会
平成31年4月17日 他7回
- (5) 関東地方発明表彰地方選考委員会
令和元年8月23日 浅草ビューホテル
- (6) 関東地方発明表彰式典・関東地域発明協会会長懇談会
令和元年11月13日 浅草ビューホテル

7. 各種情報の収集及び提供事業

- (1) ホームページによる情報発信
キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。
- (2) 会報誌による情報発信（「知財情報しずおか」を発行）
令和元年6月1日 2019 VOL.5 No.33
令和元年9月1日 2019 VOL.5 No.34
令和元年12月1日 2019 VOL.5 No.35
令和2年3月1日 2020 VOL.5 No.36

(3) P R活動

全国的に会員が減少している地域発明協会が多い中、積極的なP R活動に努め、毎月Google広告に、当協会のP Rと入会案内を掲載した。

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

当協会業務において連携を図る観点から、日本弁理士会東海会静岡県委員会に出席した。

令和元年5月17日 他3回

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,975,013	21,021,144	5,953,869
未収入金	22,629,076	21,751,439	877,637
流動資産合計	49,604,089	42,772,583	6,831,506
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	6,747,614	6,323,654	423,960
特定資産合計	6,747,614	6,323,654	423,960
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
ソフトウェア	333,720	444,960	▲ 111,240
その他固定資産合計	468,620	579,860	▲ 111,240
固定資産合計	7,216,234	6,903,514	312,720
資産合計	56,820,323	49,676,097	7,144,226
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,540,209	1,144,564	395,645
預り金	984,523	1,353,363	▲ 368,840
未払消費税	1,247,900	1,040,600	207,300
未払法人税等	2,083,200	1,500,000	583,200
流動負債合計	5,855,832	5,038,527	817,305
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,747,614	6,323,654	423,960
固定負債合計	6,747,614	6,323,654	423,960
負債合計	12,603,446	11,362,181	1,241,265
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	44,216,877	38,313,916	5,902,961
負債及び正味財産合計	56,820,323	49,676,097	7,144,226

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,422,500]	[3,420,000]	[2,500]
法人会員受取会費	2,605,000	2,577,500	27,500
個人会員受取会費	762,500	792,500	▲ 30,000
賛助会員受取会費	55,000	50,000	5,000
② 事業収益	[54,266,832]	[53,126,659]	[1,140,173]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	67,661	92,537	▲ 24,876
情報サービス刊行物事業収益	106,482	75,944	30,538
都道府県受託事業収益	11,269,117	11,065,400	203,717
特許庁請負事業収益	107,000	120,700	▲ 13,700
情報・研修館請負事業収益	42,316,572	41,372,078	944,494
③ 受取発明奨励等	[50,000]	[50,000]	[0]
受取表彰発明奨励等	50,000	50,000	0
④ 雑収益	[494,332]	[375,407]	[118,925]
受取利息	945	849	96
雑収益	493,387	374,558	118,829
経常収益計	58,233,664	56,972,066	1,261,598
(2) 経常費用			
① 事業費	[44,951,846]	[47,679,893]	[▲ 2,728,047]
発明奨励発明展事業費	1,888,951	1,655,418	233,533
発明奨励表彰式事業費	605,015	602,648	2,367
発明普及会員管理費	96,819	88,378	8,441
特許制度普及事業費	958,223	1,010,203	▲ 51,980
特許情報発信事業費(複写事業)	7,921	6,676	1,245
特許情報発信事業費(刊行物事業)	78,918	60,710	18,208
都道府県受託事業費	11,269,117	11,065,400	203,717
特許庁請負事業費	6,508	20,370	▲ 13,862
情報・研修館請負事業費	30,040,374	33,170,090	▲ 3,129,716
② 人件費	[2,742,658]	[1,485,638]	[1,257,020]
給料手当	1,615,359	498,955	1,116,404
法定福利費	682,094	530,205	151,889
退職給付費用	423,960	410,040	13,920
福利厚生費	21,245	46,438	▲ 25,193
③ 事務費	[2,636,199]	[2,207,375]	[428,824]
水道光熱費	99,761	98,978	783
通信費	387,964	248,046	139,918
賃借料	515,010	538,380	▲ 23,370
旅費交通費	47,980	17,560	30,420
消耗品費	141,449	162,545	▲ 21,096
会議費	136,077	185,122	▲ 49,045
支払手数料	397,834	429,030	▲ 31,196
諸会費	52,500	52,500	0
租税公課	114,762	63,134	51,628
保守料	195,600	194,400	1,200
広告宣伝費	430,860	106,440	324,420
ソフトウェア償却費	111,240	111,240	0
雑費	5,162	0	5,162
経常費用計	50,330,703	51,372,906	▲ 1,042,203
当期経常増減額	7,902,961	5,599,160	2,303,801

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法）を採用
無形固定資産：定額法を採用
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	6,323,654	423,960	0	6,747,614
合 計	6,323,654	423,960	0	6,747,614

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	6,747,614	(—)	(—)	(6,747,614)
合 計	6,747,614	(0)	(0)	(6,747,614)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	556,200	222,480	333,720
合 計	556,200	222,480	333,720

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,323,654	423,960	0	0	6,747,614

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

令和2年3月31日現在


(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として 源泉徴収税等	25,990,490 984,523
		静岡銀行 本店 静岡銀行 本店		
	未収金	静岡県 情報・研修館請負事業 情報・研修館請負事業	知的財産活用促進事業費残額 知財総合支援窓口運営業務 知財総合支援窓口運営業務(セミナーキャンセル分)	1,269,117 21,352,399 7,560
流動資産合計				49,604,089
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	6,747,614
		静岡銀行 本店		
その他固定資産	敷金	東部(沼津支所)	沼津支所賃貸敷金	134,900
	ソフトウェア	満喜(株)	会計ソフト	333,720
固定資産合計				7,216,234
資産合計				56,820,323
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所	3月分社会保険料	169,375
		補助員	知財総合支援窓口運営業務人件費	458,780
		流通AD	知的財産活用促進事業人件費	866,000
		(株)TOKAI他	2月3月分プロバイダ料金等	6,039
		NTTファイナンス(株)	3月インターネット回線使用料等	8,602
		キャノンマーケティングジャパン(株)	コピー料金	3,300
	佐川急便(株)	知財情報しずおか等郵送料	2,175	
	ASKUL		25,938	
	預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	984,523
	未払消費税	静岡税務署	元年度消費税	1,247,900
	未払法人税等	静岡税務署	元年度法人税	2,083,200
流動負債合計				5,855,832
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	6,747,614
		静岡銀行 本店		
固定負債合計				6,747,614
負債合計				12,603,446
正味財産				44,216,877

監査報告書

令和元年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

令和2年5月15日

監事 石垣 明彦 

監事 中村 仁 